

平成 23 年 5 月 9 日
青森労災病院 検査科 千葉祐二

東日本大震災派遣報告（2回目）

派遣地 岩手県陸前高田市
対象避難所 ・高田第一中学校（他のチームと合同実施）
・高寿園（他のチームと合同実施）
・上和野会館
・鳴石ヶ丘公民館
活動内容 <エコノミークラス症候群検診>
・避難者の深部静脈血栓症発症リスク調査
・超音波検査による深部静脈血栓の有無とヒラメ静脈最大血管径
・弾性ストッキング配布とその履き方指導
派遣期間 平成 23 年 4 月 29 日、30 日（実活動 4 月 29 日、30 日）
派遣スタッフ 弘前大学胸部心臓血管外科医師 2 名
超音波検査実施技師：青森県 2 名

今回は D-ダイマー値の結果を参照し、異常高値者を中心に（希望者も併せ）検診を行った。前回（4月2日、3日実施）よりも深部静脈血栓陽性者が多かったと思うが、他の検診チームと合同で行った場所もあるため、現時点での詳細な結果はまだ出ていないようです。

前回同様に避難所検診の成果として、エコノミークラス症候群の予防と啓蒙活動に大きく貢献したことが挙げられると思う。

